

情報科学研究科 重点研究プロジェクト
「安心安全社会構築のための横断型情報科学研究」
研究講演会(第3回)

情報科学研究科の皆様

標記の研究プロジェクト計画として、6月12日(月)に、システムの安全への情報科学的アプローチについての研究講演会を開催いたします。

ぜひ、ご出席ください。また、周りのかたがた、研究室の学生諸君なども、お誘いください。

(安心安全社会構築のための横断型情報科学研究
代表:システム情報科学専攻 出口 内線7014
kodeg@fractal.is.tohoku.ac.jp)

安心安全社会科学研究会(第3回)・講演会

2006年6月12日(月) 13:30~16:30
情報科学研究科棟 2階 中講義室

13:30~15:00

「システムが頑健であるとは？」

東京大学 情報理工学系 教授
原 辰次 氏

システム論と制御論の立場から、頑健なシステムとは、そして、システムを頑健にするための制御、さらに、頑健な制御系とはどういうことかを、文科系の方にも分かるように解説をしていただきます。

15:00~16:30

「確率的情報処理の前線

——統計科学を介した「モノの理」と「コトの技」の融合——」

東北大学 情報科学研究科応用情報科学専攻
田中 和之 氏

確率推論の考え方を説明し、Webデータマイニングの統計的アプローチに触れ、更に安全と危険の確率的予測への可能性に触れるという流れでアイディア的な部分をメインとした話をさせていただきます。

(各講演1時間、質疑30分)